

2024年8月7日

報道関係者各位

 お部屋さがしは  
**いい部屋ネット**

## 街の住みこち&住みたい街ランキング2024 <九州・沖縄版>

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO:竹内啓)は、過去最大級の居住満足度調査を行い、「いい部屋ネット 街の住みこちランキング2024<九州・沖縄版>」「いい部屋ネット 住みたい街ランキング2024<九州・沖縄版>」として集計しました。

### 「いい部屋ネット 街の住みこちランキング2024<九州・沖縄版>」主なポイント

住みこち1位は5年連続で福岡県福岡市中央区。2位は2年連続で沖縄県中頭郡北谷町。3位は福岡県福岡市西区。  
なかがみくん ちゃたんちよう

順位	昨年	自治体名		偏差値	評点	回答数
1位	1位	福岡県	福岡市中央区	71.5	73.6	1,549
2位	2位	沖縄県	中頭郡北谷町	69.6	72.4	142
3位	5位	福岡県	福岡市西区	67.4	70.9	1,600
4位	3位	沖縄県	中頭郡中城村	67.3	70.9	103
5位	6位	沖縄県	豊見城市	66.9	70.6	362

回答者数 84,991名

- 偏差値とは、評点の平均値が50になるように正規化し、評点の数値が平均値からどの程度隔たっているのかを示したものです。偏差値が同じ場合、小数点2位以下が異なります。
- 「住みこちランキング」は、九州・沖縄エリアの居住者を対象に、2020年～2024年の回答者数50名以上の自治体を対象として集計しています。ただし、2020～2024年の累計人数が50名に満たない自治体に居住している回答者のみ、2019年の回答も累積しています。なお、回答者に重複はありません。

- 福岡県福岡市中央区が5年連続で1位  
九州最大規模の繁華街である天神や大濠公園・薬院・六本松を抱える福岡市の中心部である中央区が、唯一偏差値70台の高い評価を得て5年連続での1位です。
- 沖縄県豊見城市が順位を上げて5位に  
沖縄本島南部の西海岸に位置し、那覇市に隣接しており、ベッドタウンとして住宅開発が進められた街です。大型ショッピングセンターや病院など、生活に必要な施設が揃っている他、県内初のアウトレットモールなどもあり、観光客にも人気がある街で、昨年6位から順位を上げてトップ5入りしています。

### 「いい部屋ネット 住みたい街ランキング2024<九州・沖縄版>」主なポイント

住みたい街の1位は5年連続で福岡県福岡市。2位と3位は3年連続で東京23区と熊本県熊本市。

順位	昨年	自治体名		得票数	得票率
1位	1位	福岡県	福岡市	1,308	6.6%
2位	2位	東京都	東京23区	288	1.4%
3位	3位	熊本県	熊本市	175	0.9%
4位	4位	沖縄県	那覇市	158	0.8%
5位	5位	福岡県	北九州市	106	0.5%
特になし				10,338	51.8%
今住んでいる街				4,171	20.9%

回答者数 19,969名

- 「住みたい街ランキング」は、九州・沖縄エリア居住者の2024年の回答を全国の自治体を対象にしてランキングを集計しています。
- 行政区はまとめて一つの自治体として集計しています。

- 福岡県福岡市が5年連続で1位  
福岡県福岡市が、6.6%の高い得票率で5年連続で1位に輝きました。2位は東京23区、3位は熊本県熊本市、4位は沖縄県那覇市で、いずれも3年連続でのランクインです。5位は、2年連続で福岡県北九州市です。
- 今住んでいる街の肯定派は72.7%  
「住みたい街が特になし」51.8%、「今住んでいる街に住み続けたい」20.9%の合計72.7%で、昨年に引き続き、今住んでいる街を評価する結果となっています。

WEBサイトでは上位にランクインした自治体や居住者のコメントも紹介していますので、併せてご参照ください。

本調査は今回が6回目となります。詳細につきましては、「住みこちランキング」WEBサイト(<https://www.eheya.net/sumicoco/>)または大東建託株式会社「賃貸未来研究所」公式WEBサイト(<https://www.kentaku.co.jp/miraiken/>)をご参照ください。また、「住みこちランキング」WEBサイトでは、「住みこち」と街づくりに関する学術論文や調査データの解説記事を掲載しています。

#### <詳細データについて>

各自治体には、回答者のコメントや住みこちに関する47項目の設問の評価などを記載した詳細データの提供が可能です。ご希望の場合は、本リリース2ページ目記載の問い合わせ先までご連絡ください。

# 街の住みこちランキング2024<九州・沖縄版>自治体TOP15 因子別順位

順位	昨年順位	自治体名	偏差値	評点	生活利便性	交通利便性	行政サービス	静かさ治安	親しみやすさ	賑わい	物価家賃	防災	回答数
1位	1位	福岡県 福岡市中央区	71.5	73.6	10位	1位	18位	-	4位	2位	-	87位	1,549
2位	2位	沖縄県 中頭郡北谷町	69.6	72.4	11位	27位	6位	-	1位	1位	-	-	142
3位	5位	福岡県 福岡市西区	67.4	70.9	24位	10位	4位	52位	5位	12位	18位	59位	1,600
4位	3位	沖縄県 中頭郡中城村	67.3	70.9	88位	48位	17位	30位	2位	42位	-	62位	103
5位	6位	沖縄県 豊見城市	66.9	70.6	30位	15位	26位	102位	14位	21位	-	85位	362
6位	7位	福岡県 福岡市早良区	66.5	70.3	19位	7位	3位	97位	6位	6位	34位	36位	1,688
7位	8位	沖縄県 中頭郡北中城村	66.2	70.1	67位	23位	11位	47位	29位	7位	-	42位	108
8位	-	熊本県 上益城郡嘉島町	66.1	70.1	6位	33位	62位	-	81位	17位	79位	-	51
9位	10位	福岡県 春日市	65.8	69.9	9位	18位	7位	77位	10位	18位	94位	8位	754
10位	4位	福岡県 福岡市城南区	65.8	69.9	17位	6位	9位	59位	8位	13位	13位	14位	957
11位	14位	熊本県 菊池郡菊陽町	65.1	69.4	5位	32位	10位	-	18位	3位	69位	6位	283
12位	9位	福岡県 北九州市戸畑区	64.6	69.1	21位	8位	2位	92位	31位	19位	9位	18位	440
13位	12位	沖縄県 島尻郡南風原町	64.6	69.1	2位	4位	14位	-	19位	11位	-	35位	208
14位	13位	熊本県 合志市	64.2	68.8	43位	39位	16位	34位	24位	38位	63位	1位	345
15位	16位	福岡県 那珂川市	64.0	68.7	16位	37位	43位	-	15位	52位	65位	27位	330

## TOP15外の自治体因子別順位トピックス

- 生活利便性の1位は沖縄県沖縄市、3位は福岡県北九州市小倉北区でした。
- 交通利便性の2位は福岡県福岡市博多区、3位は福岡県糟屋郡粕屋町でした。
- 行政サービスの1位は、沖縄県中頭郡嘉手納町でした。
- 静かさ治安の1位は鹿児島県熊毛郡屋久島町、2位は宮崎県西臼杵郡高千穂町、3位は大分県竹田市でした。
- 親しみやすさの3位は、沖縄県中頭郡嘉手納町でした。
- 物価家賃の1位は宮崎県北諸郡三股町、2位は熊本県上益城郡御船町、3位は宮崎県東臼杵郡門川町でした。
- 防災の2位は福岡県八女郡広川町、3位は宮崎県北諸郡三股町でした。

- ・ 評点は、今住んでいる街への評価について、大変満足している：100点、満足している：75点、どちらでもない：50点、不満である：25点、大変不満である：0点とした場合の平均値です。
- ・ 偏差値とは、評点の平均値が50になるように正規化し、評点の数値が平均値からどの程度隔たっているのかを示したものです。偏差値が同じ場合、小数点2位以下が異なります。
- ・ 因子別の順位で、偏差値が50未満の場合は「-」と表示しています。
- ・ 昨年の順位が「-」となっている自治体は、昨年の累計回答者数が50名未満だったためランキング集計対象外でした。

## 調査概要

### ■ 調査概要

- ◇調査方法 株式会社マクロミルの登録モニタに対してインターネット経由で調査票を配布・回収。
- ◇回答者 九州・沖縄(福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県)居住の20歳以上の男女、2020年～2024年(一部の回答のみ2019年を追加)合計84,991名を対象に集計。  
 [男女比] 男性43.5%:女性56.5%  
 [未既婚] 未婚39.7%:既婚60.3% [子ども] なし45.4%:あり54.6%  
 [世代比] 20歳代16.1%、30歳代25.0%、40歳代24.8%、50歳代20.0%、60歳代10.8%、70歳代3.3%
- ◇調査期間 2024年2月21日(水)～3月14日(木):2024年調査(回答者数:19,969名)  
 2023年2月17日(金)～3月15日(水):2023年調査(回答者数:18,622名)  
 2022年3月8日(火)～3月29日(火):2022年調査(回答者数:17,578名)  
 2021年3月17日(水)～3月30日(火):2021年調査(回答者数:14,717名)  
 2020年3月17日(火)～4月3日(金):2020年調査(回答者数:13,787名)  
 2019年3月26日(火)～4月8日(月):2019年調査(回答者数:318名 ※2019年は一部の回答のみ使用) 計84,991名
- ◇調査体制 調査企画・設問設計・分析:大東建託賃貸未来研究所 宗健(フェロー)、調査票配布回収:株式会社マクロミル
- ◇回答方法 住みこちランキングは、現在居住している街についての「全体としての現在の地域の評価(大変満足:100点 満足:75点 どちらでもない:50点 不満:25点 大変不満:0点)」の平均値から作成。住みたい街ランキングは、入力された自治体名をもとに複数の候補を表示し選択してもらうフリーワード・サジェスト方式の回答から投票数を集計して作成。

### ■ 解説者プロフィール

宗健(そう たけし)



麗澤大学教授 博士(社会工学・筑波大学) ITストラテジスト  
 大東建託株式会社 賃貸未来研究所 フェロー

1965年北九州市生まれ。1987年九州工業大学工学部卒業、株式会社リクルート入社。通信事業部、求人系インターネットサービス企画マネジャー、ForRent.jp編集長、ISIZE住宅情報編集長、R25式モバイル編集長などを経て、2006年株式会社リクルートフォレントインシュア代表取締役社長。2012年リクルート住まい研究所長、2018年7月大東建託株式会社賃貸未来研究所長、2020年4月AI-DXラボ所長(兼任)、2021年4月麗澤大学客員教授を経て、2023年4月より麗澤大学教授、大東建託株式会社賃貸未来研究所フェロー。

- ・ 本リリースの一部または全部を、個人的な利用を目的とする印字・保存等、その他著作権法で認められる場合を除き、著作物等を著作権者等の事前の許諾なしに、複製、公衆送信、頒布、改変、他のウェブサイトに掲載するなどの行為を禁止します。
- ・ 新聞・雑誌、テレビ・ラジオ等の報道関係者におかれましては、本リリースを掲載・報道または引用する場合には、「いい部屋ネット 街の住みこちランキング&住みたい街ランキング2024<九州・沖縄版>」と出所の表記をお願いします。
- ・ 学術研究目的の場合、本調査個票データについて提供できる可能性がありますので個別にお問い合わせください。
- ・ 「住みこちランキング」WEBサイトでは、「住みこち」と街づくりに関する学術論文や調査データの解説記事を掲載しています。詳細につきましては、WEBサイトをご覧ください。

本件に関するお問い合わせ | 大東建託株式会社 賃貸未来研究所  
 メール | mirai-ken@kentak.co.jp TEL | 03-6718-9340